

2020年10月30日

「フランドルの鐘」30周年記念ウェブ講演会のお知らせ

日本カリヨン演奏家協会 代表理事 内野三菜子

兵庫県伊丹市のカリヨン「フランドルの鐘」がベルギー・ハッセルト市から贈られて今年11月に30周年を迎えます。これを記念し、「フランドルの鐘」を軸に、カリヨンと16世紀フランドル地方の文化を広く紹介するイベントをウェブ上にて開催いたします。第一部では「フランドルの鐘」30年のあゆみを、通常の演奏では見ることの難しい演奏中の映像で振り返り、あわせてハッセルト市とハッセルト市のカリヨンも紹介します。また「フランドルの鐘」の立地する有岡城が実際にあった16世紀から17世紀にかけて、ちょうどカリヨンが発展した時代に、その頃のフランドル地方（現在のベルギー）がどのような様子だったか、第二部として周辺の美術、歴史、を含めた当時の文化事情について専門家のお話を伺い、第三部としてその当時にフランドル地方で実際に演奏されていた楽曲も、実演を交えた講演にて紹介します。貴重な「フランドルの鐘」を軸に、日本とベルギーと、21世紀と16世紀をめぐる時間をお楽しみいただけますと幸いです。

とき：11月8日 日曜 午後2時より

場所：オンライン・YouTubeにて配信いたします（無料・事前登録不要）

URL：<https://ux.nu/QnKZZ>（日本カリヨン演奏家協会のチャンネルより配信）



出演者

第一部	伊丹／ハッセルト カリヨン紹介	内野三菜子（カリヨン奏者）
第二部	16世紀フランドル地方の文化	白沢達生（翻訳家・音楽ライター）
第三部	16世紀フランドル地方の音楽	坂本卓也・ささきひろ子・山本佳美 （ヴィエール／歌／リコーダー）

主催 日本カリヨン演奏家協会 共催 伊丹市国際平和課

後援 ベルギー大使館

協力 小西酒造株式会社・レストラン長寿蔵

2020年10月30日

講演者紹介

第一部 カリヨン紹介 内野三菜子（カリヨン奏者 北米カリヨンギルド正会員）



東京都出身。留学先のトロント大学にてカリヨンに出会う。2013年より伊丹・フランドルの鐘での演奏会に出演。2017年ベルギー大使館「日本ベルギー友好150周年」クロージングセレモニーでアントワープ・聖母マリア聖堂の鍵盤を用いた練習機にてカリヨン実演。小学館「サライ」にカリヨンについての記事を寄稿 (<https://serai.jp/hobby/154969>)。

2019年北米カリヨンギルド認定奏者。

第二部 ベルギー文化についての講演 白沢達生（翻訳&音楽ライター）



西洋美術史専攻・雑誌編集・輸入商社勤務をへて独立。仏・伊・英・独・蘭・西語などの翻訳や執筆を手がけてきた一方、美術館企画展に合わせたCD販売監修も長く担当。古楽関連はじめ欧州発売CD解説の翻訳・執筆多数。ウェブマガジン ONTOMO「だから、つい聴きたくなる。」ほか Web 記事も執筆。コストマリー主宰中世イベント、南青山 Mandala 宮廷音楽ライブ、歴史料理再現「音食紀行」、高音質音楽放送ミュージックボードなどで話し手としても活動。

Twitter → https://twitter.com/t_shirasawa

Blog → <https://tatsuoshirasawa.wordpress.com>

第三部 フランドル音楽についての講演と実演 ささきひろ子／山本佳美／坂本卓也



それぞれ関西を中心に、中世、ルネサンス、バロック音楽などの演奏活動を行っている。2020年7月に3名で徘徊楽師ギルドを設立し、社会状況に合わせた演奏スタイルとして、公園、河川敷、美観施設など屋外でのライブ活動にも力を入れている。

写真左からささきひろ子（歌）山本佳美（リコーダー）坂本卓也（ヴィエール）